



日暮里わかものハローワークで初の自衛官採用説明会

東京地本台東出張所（所長 紺野一陸尉）は、11月28日荒川区に所在する「日暮里わかものハローワーク」において初めて自衛官採用説明会を実施した。

「わかものハローワーク」は、正社員での就職を目指している方や過去に正社員として働いていたことがない方を対象に「イチから就職活動を支援する」ハローワークで、本年10月1日から自衛官候補生の採用年齢上限が引き上げられたのを機に台東出張所の荒川区担当広報官が積極的にハローワークと連携し、HPや案内チラシ等での告知が実を結び、今回初めて採用説明会が行われる事となった。

当日は、自衛隊としての職業に興味を持ち保護者とともに説明会に訪れ、自衛官の職務や勤務環境等についての説明を受けた後、その場で志願意志を固め志願票を提出した若者もいた。また、現在は一般の会社で勤務している女性は、説明を受け、「自衛隊は知っていたが、普段どんな仕事をしているのかを初めて聞き、今までのイメージと違っていた」と驚いていた。

今回初の試みとなった「日暮里わかものハローワーク」での説明会は、志願票の獲得等の成果に加え、区報の活用等可能な手段を併用した早期からの告知の必要性等、今後の説明会実施に向けた教訓を得ることができた。

台東出張所では今後も所在地域の他機関等と連携して自衛官採用説明会を企画し、多くの入隊希望者を確保するよう活動していきたいとしている。



訓練により広報官の技能を更に向上

東京地本（本部長荒井陸将補）は11月29日、広報官等の識能向上を図るため防衛研究所国際会議場（市ヶ谷）において「第5回募集会議」の一環として識能教育、技能訓練及び施策発表を実施し、東京地本の各地区隊長、所長のほか、105名の広報官が参加した。

識能教育においては、本年10月1日より引き上げとなった自衛官採用年齢に関する根拠及び政府（防衛省）が進める制度に関する教育を実施し、入隊時期（採用月）による募集対象年齢の適用範囲について徹底を図るとともに、女性活躍推進の現況及び各種施策等の概要について理解させ、募集対象者のみならず保護者及び部外協力者に対する説明のための知識を付与した。

技能訓練では、各事務所から選抜された広報官が「事務所を訪れた募集対象者に対して説明する場面」を展示し、当初、陸上・海上・航空の各自衛官である広報官が、男性の募集対象者に対してそれぞれの所属自衛隊の魅力やPRしつつ、自衛官候補生試験受験の志願化に向けた案内を実施した。その後、男性及び女性広報官が女性の募集対象者に対して女性自衛官の勤務内容や処遇等に関する説明を行なった。各広報官は、説明時間の制約がある中、募集用パンフレットの活用や体験談を交えて具体的な説明を実施する等それぞれが自身の培った技能を発揮し、対象者に合わせて創意を凝らした案内を展示した。展示後の討議では、研修した他の広報官から「相手と目線を含ませた説明は誠意が感じられた。」「対象者のご両親への気配りも感じられた説明で好印象だった。」「海上自衛隊のイメージとして定着している『金曜日のカレーライス』の話題等、対象者の関心を引く会話を通じ親近感の醸成を図っていたのは良かった。」「等の意見が上がり、広報官としての経験の差を越えた積極的な意見交換により、各広報官の技能向上の資となった。

また、入隊確度の維持・向上のため各事務所等が実践または検討している「つなぎ施策」について4個の地区隊から代表所長による施策発表が行なわれ、対象者個々の特性に応じ、かつ、保護者を含む不安感の払拭のための「より効果的なつなぎ施策」について意見交換が行なわれた。

東京地本では、募集業務が佳境を迎えるこの時期に各広報官の更なる技能向上を図るとともに、採用試験合格者の入隊・入校までの重要な業務である「つなぎ施策」の充実を図り、募集目標の達成のため万全を期すとしている。

